

食糧安全保障について

質問 ウクライナ危機などで農業の肥料や畜産の飼料等あらゆるものが高騰する中、農家経営が打撃を受けております。これからの気候変動、地域間の争い等により、急遽、食糧の輸入が出来なくなつた場合の、食糧安全保障のために、**我が国の主食であるコメ、稲作農家を守つていかなければなりません。**本県の農業従事者の推移と県の認識はどうか？

館野農林水産部長 令和2年における本県の基幹的農業従事者数は50,328人で、5年前から22・7%減少しています。また、担い手の減少と高齢化が進んでいます。

一方で、経営耕地面積規模が5ヘクタール以上の経営体数は、5年前から266経営体増えて2,623経営体に規模を拡大した経営体が増えていくところです。

地域の農業従事者が減少する中で、県としては、経営規模の拡大を図る農業者を積極的に支援することが、農地の維持や本県農業の発展に極めて重要と考えているところです。

要望 大規模化は必要です。しかし水田は用水管理や水路の草刈りなどは農業者の、共同作業によって成り立っている。是非多面的機能支払交付金の助成を始め**農業が生業として成り立ち主食の維持**につながる様動いて頂きたい。



インターチェンジ周辺の開発について

質問 産業用地確保のための都市計画法に基づく開発行為等の基準に関する条例の改正を行う目的は何か。

高橋都市整備局長 県が開発許可権限を有する7市町においては、都市計画マスタープランに位置付けられた産業拠点について、市町からの申出を受け、県が区域を指定することで、開発が可能となるよう、条例改正を行い、**市街化調整区域に計画された産業拠点の開発手法を追加**することとしました。

要望 これにより進出企業が現時点ではなくても自治体・地権者が協力すれば、産業用地の計画を先に作っておく事ができ、企業の進出がしやすくなる。是非進めて頂きたい。

質問 金田西土地地区画整理事業の進捗及び保留地販売の状況はどうか。

高橋都市整備局長 昨年度末の進捗率は、事業費ベースで約81%と保留地の販売状況としては落札価格が予定価格の1・9倍となるなど、好調です。本年8月には、大型小売店舗を展開する企業の本社が地区内に移転するなど**ポテンシャルが高まっている**ことから、この機を逃さず、地元市と連携し事業推進及び保留地販売に努めてまいります。

久留里線維持について

質問 公共交通を取り巻く事業環境が厳しさを増しております。

国土交通省によると、1987年の分割民営化の際に、バス転換の目安とされた、輸送密度4,000人未満の路線は、2019年度には、JR6社の在来線の、総営業キロの約42%にも達しているとの事であります。

利用者数が少ない県内のJR路線を活性化するため、県としてどのような取組を行っているのか？



高橋総合企画部長 ダイヤの改善等による利便性向上をJR東日本に働きかけるとともに、沿線市と連携したイベントの開催など、鉄道利用者を増やすための取組を行っている

JR久留里線においては、令和2年度に、県、沿線市及びJRで構成される活性化協議会を設立し、小学生向けの乗り方教室や、お酒をテーマにした観光客向けの周遊イベントなど、様々な事業を実施しております。

要望 人々のライフスタイルが変化の中で利用者の減少により、地方の路線維持は困難になりはじめています。

しかし、地域鉄道やJR路線は地域の存続の生命線であることも事実であります。

是非、出来る限り維持が出来るよう市町村と情報共有をしながら危機感をもつて動いて頂けたらと思います。

防災安全保障について

質問 我が国は、世界屈指の災害大国であります。実際に震災や土砂災害、水害等が起きた時に、誰が我々を助けてくれるのか。無論、自衛隊や警察、消防も動いて頂きます

が、**真っ先に災害現場に入るのは「地元の土木・建設業者」の方**であります。

東日本大震災の際にも、まずは地元の土木建設業者が現地に入り、道を開きました。

全国各地の「地元の土木建設業者」が健全に存続していることが、日本国民の、「防災安全保障」の要であるとも考えます。建設業に係る県内の許可業者数が最も多かった時と現在の状況はどうか？

また、県土整備部の普通建設事業費の推移について、近年の動向はどうか？

池口県土整備部長 業者数が最も多かった平成12年3月末での2万2千291者に比べ、約12・2%減少しております。

普通建設事業費については平成30年度からは、増加傾向となっております。令和4年度の当初予算額は、平成25年度から約1・5倍の948億円となっております。

質問 **施工時期の平準化**に向けた取組はどうか。

池口県土整備部長 ゼロ債や2か年債務の活用、早期の繰越設定などにより、年度当初から稼働する工事を増やし、工事の閑散期と繁忙期との差の解消に努めているところです。

ちびアクアラインマラソンについて

質問 大会運営の結果を主催者としてどう評価しているのか。

熊谷知事 フルマラソン完走された高橋県議はじめ、出走完走された各議員の皆様方に、心から敬意を表したいと思っております。また、大会を支えていただいた全ての皆様方に心から感謝を申し上げます。今大会は、新型コロナウイルス感染症が懸念される中にもかかわらず、定員の2倍を超える応募があったこと、当日、本県の魅力を発信するイベント会場に多くの方にお越しいただいたことなどから、改めてちびアクアラインマラソンの魅力が認識されたものと考えております。

今後、競技運営や感染症対策、県に寄せられた県民からの御意見などについて検証を進め、大会関係者の意見も伺いながら、今大会の成果について総括をまいります。

2年後の開催を要望

今回の大会は、改めてちびアクアラインマラソンの魅力が再認識されたとの御回答もありました。

先日の日曜日にも三井アウトレットの周りを、子どもと共に会話をしながら3人で走る家族の姿がありました。ほのぼのとしている光景だと感じた次第であります。これもアクアラインマラソンを開催していただけるからであります。

このアクアラインマラソンを今後も千葉県のスポーツの振興のために活かしていただきたいと思います。先ほどお話しした**アクアラインの存在、有用性を全国に表現する800円と同様の大切な発信源の一つとして考えて頂き2年後も是非お願いしたいと考えます。**

熊谷知事とともにアクアライン800円恒久化・地域活性化のため頑張ります



アクアラインを知事と一緒に走る事ができました!!